

| 保坂区長 2 期目以降に区議会の各常任委員会に報告されたもの |    |                         |  |
|--------------------------------|----|-------------------------|--|
| ①平成 27 年 6 月 18 日              | 文教 | 区立尾山台小学校の事務職員の懲戒免職      |  |
| ②平成 27 年 7 月 29 日              | 文教 | 区立学校教員の事故（盗撮）処分         |  |
| ③平成 27 年 11 月 9 日              | 区民 | 労基署による「世田谷文化財団への調査」     |  |
| ④平成 27 年 12 月 16 日             | 福祉 | 会計検査院の是正処置（生活保護費の不適切管理） |  |
| ⑤平成 28 年 2 月 8 日               | 区民 | 公正取引委員会の「世田谷文化財団」への指導   |  |
| ⑥平成 28 年 12 月 19 日             | 企画 | 特別区民税申告書等の紛失            |  |
| ⑦平成 29 年 6 月 16 日              | 企画 | 「世田谷コール」のメールの消失         |  |
| ⑧平成 29 年 6 月 16 日              | 文教 | 区立学校教員の体罰事件             |  |
| ⑨平成 29 年 7 月 5 日               | 区民 | マイナンバーカード交付再通知の誤記載      |  |
| ⑩平成 29 年 7 月 6 日               | 福祉 | 保健センターにおける個人情報紛失        |  |
| ⑪平成 29 年 9 月 5 日               | 区民 | 戸籍受理証明書の誤交付             |  |
| ⑫平成 29 年 9 月 5 日               | 文教 | 体験学習における講師の過指導・体罰       |  |
| ⑬平成 30 年 3 月 19 日              | 区民 | 収納金の紛失                  |  |
| ⑭平成 30 年 4 月 24 日              | 文教 | 区立学校教職員の宿泊費紛失           |  |
| ⑮平成 30 年 4 月 24 日              | 企画 | 区職員による区営住宅の不正利用         |  |
| ⑯平成 30 年 5 月 24 日              | 企画 | 特別区民税収入書の送付漏れ           |  |
| ⑰平成 30 年 9 月 3 日               | 企画 | 障害者雇用率算定の疑問点            |  |
| ⑱平成 30 年 9 月 29 日              | 企画 | 障害者雇用率算定の再点検            |  |
| ⑲平成 30 年 10 月 9 日              | 文教 | 区立学校教職員の（痴漢）事件          |  |
| ⑳平成 31 年 2 月 5 日               | 福祉 | 区民税額の二重記載送付             |  |
| ㉑平成 31 年 2 月 25 日              | 企総 | 区職員による懲戒免職（わいせつ事件）      |  |

## 世田谷区の災害対策は緒についたばかり

### 実行より見栄えを優先した保坂区長

●今年も正月早々、熊本で震度 6 弱の地震が 2 月には再び北海道で震度 6 弱の地震がありました。昨年は北海道、大阪北部と大きな被害が  
●首都直下地震は、もはや想定内の災害です●**世田谷区**では私たちの、従来からの指摘である、災害対策の拠点である本庁舎の電源がたった 3 時間しかもたない、一度揺れた庁舎は怖くて使えない、ということに保坂区長もようやく理解して、対策が動き出しました。（東日本大震災でなぜ気づかない？）●保坂区長が本庁舎の



熊本地震で業務が停止した宇土市役所

災害対策機能の問題に手をつけたのは、平成 28 年 4 月の熊本地震（前回選挙の翌年）以後です●なぜ遅れたか？本庁舎整備には大きな予算が伴い区の基金（貯金）の取り崩しが避けられま  
●保坂区長になってから区の基金が減った（借金が増えた）、という批判を恐れたのでしょうか。現に 2 期目は、区の貯金が借金を 22 年ぶりに上回り借金ゼロにしたことをアピールしています●結果的に区民の安全より、自己のイメージを優先させ、自分の実績作りのために区民の安全を後回しにしたのです●保坂手法の特徴は何をやったかではなく、有権者から「いかに見えるか」を一番の基準にしていることです。



本会議で初めて「消防困難地域」のパネルを示すおおば正明



## 保坂区長の公約になかったけど開設の運びとなった児童相談所

91 万都市、世田谷区に、児童相談所がないのは行政組織の欠落である。東京都の仕事では人員が足りない。これはむしろ区議会がリードして保坂区長を「働かせて」開設にこぎつけた事例。



世田谷区議会議員 世田谷行革 110 番

おおば正明 区政報告

〒157-0063 世田谷 3-15-3 (TEL&FAX 3307-1179) 110ban@t3.rim.or.jp

もっと多くの区民の皆さんに読んでもらいたい号です。

グーグル検索等で、おおば正明 と入力！

http://ooba.muse.bindsite.jp/

第 60 号発展版 2019 年 3 月

## “城代家老” 謎の遁走事件



「こんなことは 2 度とあってはならない」と役所側は、陳謝していますが、保坂区長 2 期目の 4 年間でこんなに多くの事件が起きています。各々、被害者は数人から数千人規模なので、91 万区民全体からすれば大騒動にはなっていませんが、当事者にとっては、深刻、重大事件の連続発生です。



■平成 29 年 6 月の本会議直前という時期に、保坂区長が最初に“任命”した副区長が突然、辞職しました。■健康上の理由もなく（現在は世田谷区とは関係のない民間会社に勤めています）6 年近くも保坂区長のもとで働き続けた“忠臣”役人。保坂批判の矢面に立って区長を守ってきた人です■理由を本人は一切語りませんが、行動だけをみていけば、明らかに保坂区長のもとで、もうこれ以上無理、働けない、ということでしょう■左表では、その副区長が辞めてから、区の不幸事は多発しています■「規則通りにやる」という区役所の組織そのものが、グロウしています。大きなトラブルの前兆が始まっているのです・・・

## あとがき

退職金が問題なのではありません  
退職金を「選挙の道具」に使う  
当選したら、次は「退職金をもらう」という、政治信念の軽さが（約束をコロコロ変えることが）今回のテーマなのです。

●お伝えしたかったのは、保坂区政のチェックです●保坂区長の選挙公約（前回）を覚えている人はどれだけいるでしょうか●保坂氏は、1 期目、「区長退職金の即刻廃止」と大胆な公約を掲げました●その結末を公的記録に基づいて検証。

## 権力のチェックこそが議員の仕事

●次に今期の区長公約についても検証しました。1 期目の功績というものが実はどんなものだったか？これらは統計やグラフ等を用いなければ、到底理解できないことです●あわせて世田谷区が人口 91 万であり、公共施設も古くから存在し、いっせいに建て替えの時期が迫っていることも書きました。このことは地方自治体の財政の根っこの部分でもあります

## 見栄をはる政治より、胸をはる政治を

●昨今は、内実を伴う政治より、いかに見られるかという政治が横行しています●区民の多くは、保坂区長をテレビやマスコミ、或いは区の広報紙を通じて、知ることになりますが、良い場面にしか保坂氏は登場しません（当然のことですが）●しかしそれでは独裁国家と何ら変わりありません●批判なき権力は腐敗します、つまり区民の皆さんに迷惑がかかるということです。今号も字が小さくなりますが正確な情報に徹した結果とお許し下さい。

